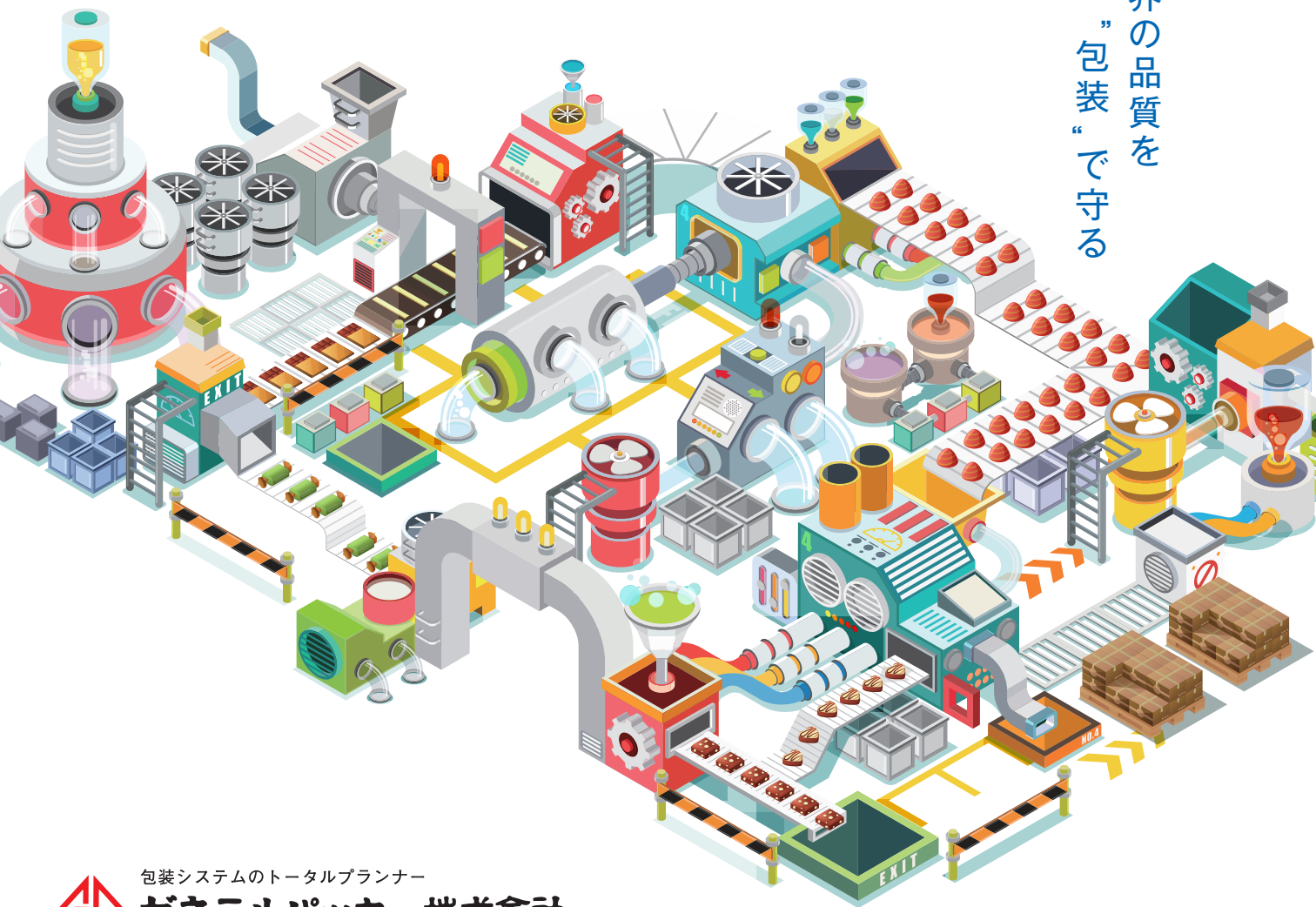


# INVESTORS' GUIDE

ゼネラルパッカー通信 2024年7月期(第63期)中間 [2023.08.01→2024.01.31]

世界の品質を  
”包装”で守る





# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けて 将来の成長に向けた 事業投資及び人的資本投資を 積極的に行っていくとともに、 株主還元を強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。  
ここに当社第63期第2四半期累計期間（2023年8月1日から2024年1月31日まで）の  
営業状況と通期の見通しをご報告させていただきます。  
ご一読の上、当社事業へのご理解とともに、  
今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **牧野 研二**

## 2024年7月期上半期の決算概況

2024年7月期上半期の売上高は4,239百万円と、期初の業績予想に対して未達となったものの、前年同期に比べて718百万円の増収となりました。包装機械事業では、主力商品及び保守サービスの販売実績が増加したことに伴い869百万円の増収となりました。一方、生産機械事業では、大型プラントの販売実績が減少したことに伴い151百万円の減収となりました。

営業利益は全体で220百万円の増益となりました。包装機械事業では、前年同期比で869百万円の増収となった効果が大きな要因となり、317百万円の増益となっております。生産機械事業では、減収となったことに加え、低採算案件の影響に伴い

売上総利益率が低下したことにより97百万円の減益となっております。

## 2024年7月期通期の見通し

2024年7月期の業績見通しについて、売上高9,600百万円（前期比6.0%増）、営業利益825百万円（前期比11.3%減）、経常利益830百万円（前期比11.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益580百万円（前期比12.8%減）を予定しており、通期業績予想の変更はありません。

2024年7月期上半期では売上高が当初計画を若干下回る結果となりましたが、上半期での検収予定案件が下半期へずれ込んだことが要因であります。受注残高につきましては包装機械

事業において着実に増加しており、通期では当初計画の達成を見込める状況であることから前期比での増収を見込んでおります。

一方で利益につきましては、仕入価格の高騰などの影響による売上総利益率の低下、国内外での展示会出展による販売費及び一般管理費の増加を想定していることに加え、賃上げの実施による人件費の増加を想定していることから、当初計画通り前期比での減益を見込んでおります。

## 第7次中期経営計画の取り組みについて

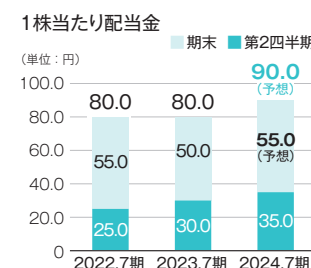
第7次中期経営計画（2024年7月期～2026年7月期）では、「グループ一体での飛躍的成長に向けた基盤整備の時期」と位置づけ、飛躍的成長に向けたグローバル展開の加速と事業領域の拡大を重要課題としております。

国内市場では主力商品のさらなる拡販により安定的な収益を確保しつつ、ワンストップで応えるソリューションビジネスの拡大、省人化や環境配慮への対応を進めるとともに、3極での販売体制を強化することでグローバル市場での売上高比率40%以上の達成に向けて取り組んでおります。

2024年7月期上半期における海外売上高比率は25.0%となりました。前年同期は生産機械事業において、アジア地域での大型プラントの販売実績があったこと、包装機械事業において、日本国内での販売実績が大きく伸長したことなどが要因となり、前年同期に比べて海外売上高比率は低下しておりますが、グローバル市場での売上拡大に向け、引き続き中国子会社・米国子会社の販売体制の強化を推進し、海外売上高比率40%以上の達成を目指してまいります。

## 株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）3%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指していきます。



## 第7次中期経営計画

- 中期経営ビジョン
- 1 グローバル市場で信頼され、支持されるGPグループ
  - 2 ワンストップで応えるソリューションカンパニー
  - 3 創造力と挑戦心で活気あふれる「ものづくり企業」

経営目標	第6次中計		第7次中計	
	23/7期実績		26/7期目標	
売上高経常利益率	10.4%		10.0%以上	
ROA (総資産経常利益率)	8.5%		9.0%以上	
ROE (自己資本当期純利益率)	11.0%		10.0%以上	
業績目標	23/7期実績		26/7期目標	
	23/7期実績		26/7期目標	
売上高	9,054百万円		11,000百万円	
経常利益	939百万円		1,100百万円	
親会社株主に帰属する当期純利益	665百万円		770百万円	

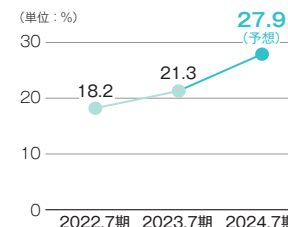
## 株主の皆様へのメッセージ

2024年7月期の中間配当につきましては、予定通り1株当たり35円とさせていただきます。期末配当につきましては1株当たり55円を予定し、年間の配当金合計は1株当たり90円となります。

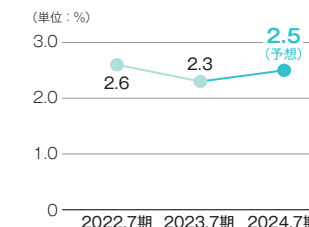
今後資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、事業投資及び人的資本投資を積極的に行っていくとともに、株主還元を強化していくことが重要であると考えております。

株主の皆様におかれましては、今後も当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 配当性向



## 純資産配当率 (DOE)



### 経営成績に関する定性的情報

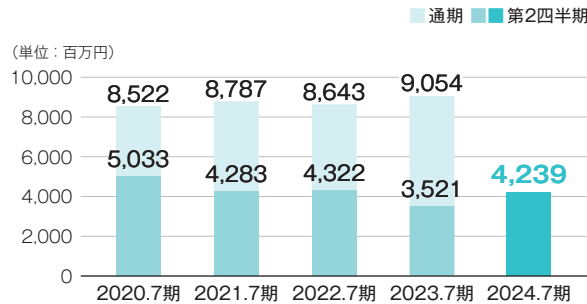
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限の緩和により、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動に伴う物価上昇の影響により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは「グループ一体での飛躍的成長に向けた基盤整備の時期」と位置づけた 第7次中期経営計画（2024年7月期～2026年7月期）を策定し、グローバル展開の加速と事業領域の拡大を重要課題として基本戦略を推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間における売上高は、包装機械事業における主力商品及び保守サービスの販売実績の増加に伴い、前年同期に比べ718百万円の増収となりました。利益につき

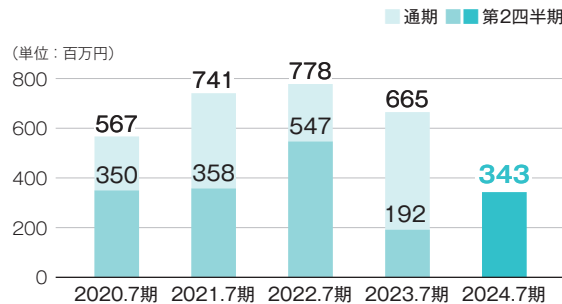
ましては、包装機械事業における増収効果により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ増収となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。包装機械事業は主力商品であるメカトロハイスベック包装機を中心とした給袋自動包装機の販売実績の増加とともに保守サービスの販売実績も増加したことから、売上高は3,530百万円（前年同期比32.7%増）、営業利益は521百万円（前年同期比155.8%増）となりました。生産機械事業は大型プラントの販売実績の減少により、売上高は720百万円（前年同期比16.2%減）となりました。利益につきましては、低採算案件の影響により売上総利益率が低下したことから、営業損失は12百万円（前年同期は営業利益84百万円）となりました。

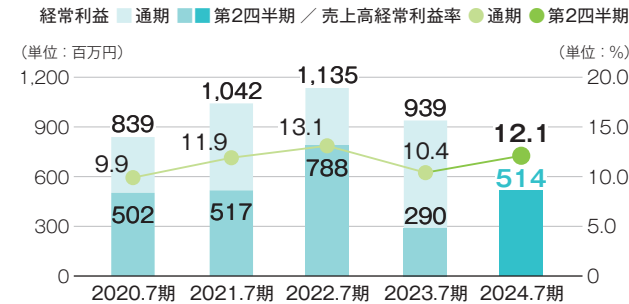
### 売上高



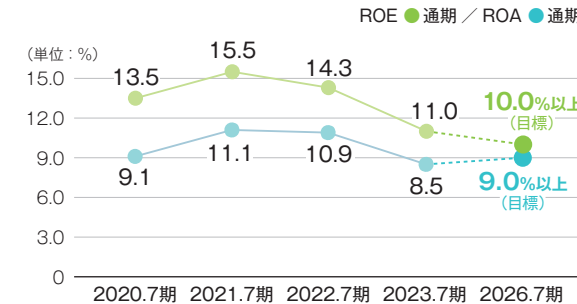
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



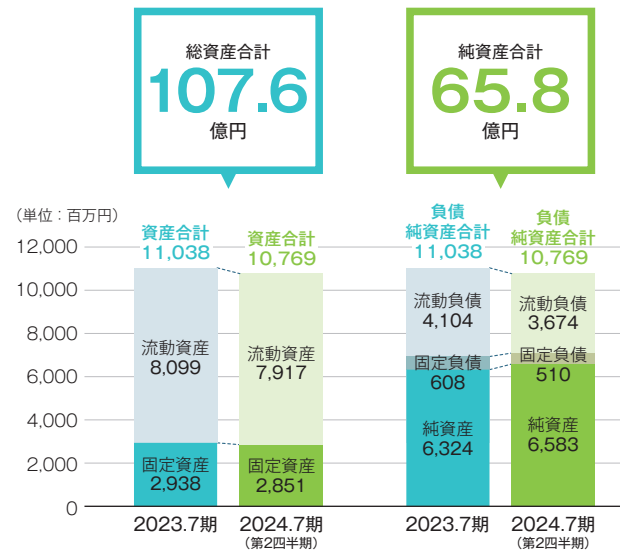
### 経常利益／売上高経常利益率



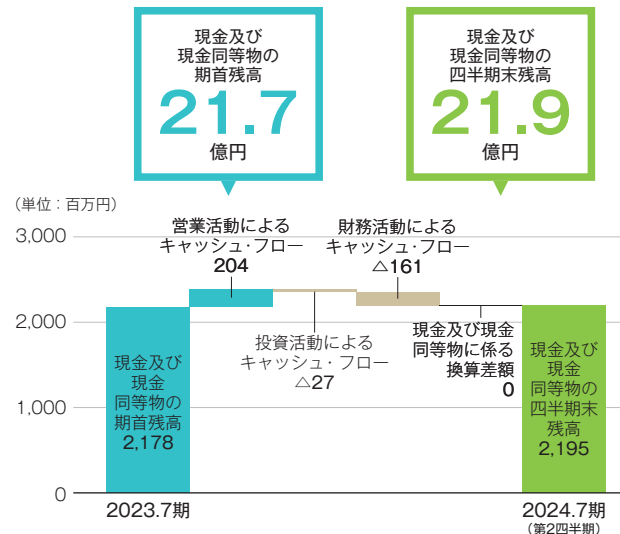
### ROE／ROA



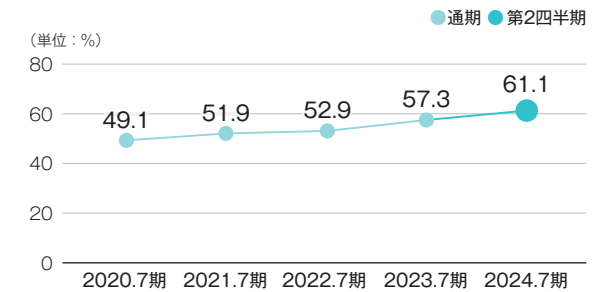
### 財務状況



### キャッシュ・フローの推移



### 自己資本比率



### 財務分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は10,769百万円となり、前連結会計年度末に比べて269百万円減少いたしました。主な要因は、棚卸資産が77百万円増加した一方で、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が326百万円減少したためです。

負債合計は4,185百万円となり、前連結会計年度末に比べて527百万円減少いたしました。主な要因は、仕入債務が366百万円、長期借入金73百万円、製品保証引当金57百万円、それぞれ減少したためです。

### キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果得られた資金は204百万円（前年同期は754百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益504百万円、売上債権の減少額338百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額366百万円、法人税等の支払額112百万円、棚卸資産の増加額77百万円であります。投資活動の結果使用した資金は27百万円（前年同期比58.4%減）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出22百万円、無形固定資産の取得による支出3百万円であります。財務活動の結果使用した資金は161百万円（前年同期は33百万円の獲得）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額89百万円、長期借入金の返済による支出73百万円であります。

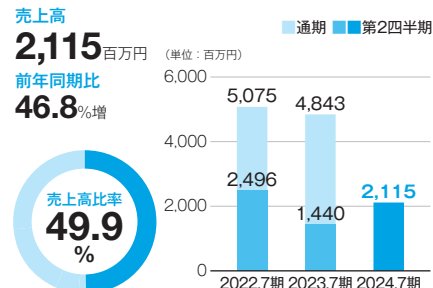


包装機械

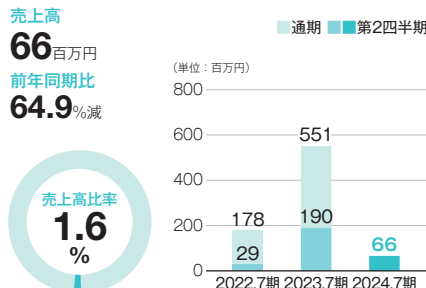
包装機械事業につきましては、主力商品であるメカトロハイスペック包装機を中心とした給袋自動包装機の販売実績の増加とともに保守サービスの販売実績も増加したことから、売上高は3,530百万円(前年同期比32.7%増)、営業利益は521百万円(前年同期比155.8%増)となりました。



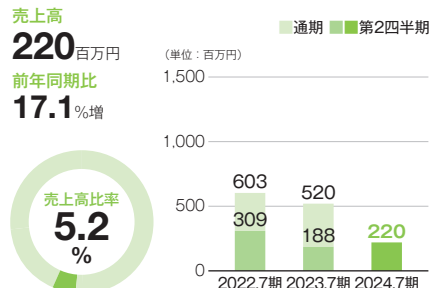
給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機

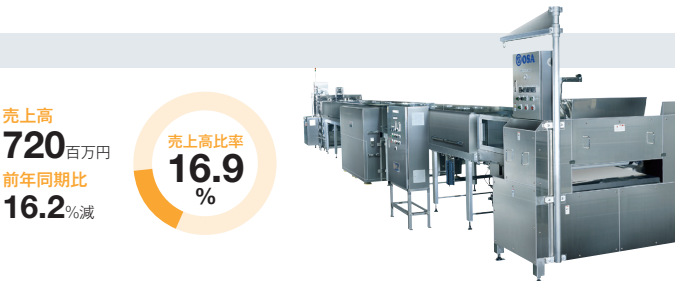


包装関連機器等

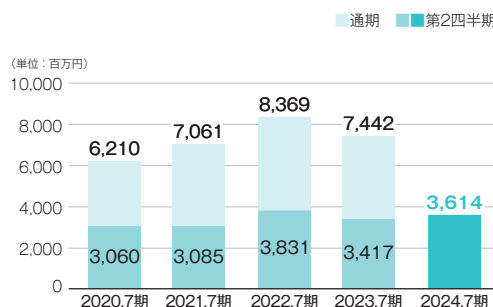


生産機械

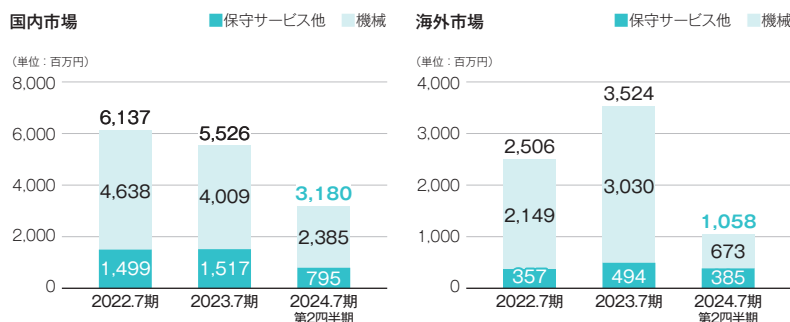
生産機械事業につきましては、大型プラントの販売実績の減少により、売上高は720百万円(前年同期比16.2%減)となりました。利益につきましては、低採算案件の影響により売上総利益率が低下したことから、営業損失は12百万円(前年同期は営業利益84百万円)となりました。



機械受注高



エンドユーザー国内・海外売上高(包装機械・生産機械合計)



会社概要

商号	ゼネラルパッカー株式会社
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設立	1961年12月
資本金	2億5,157万7千円
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売
従業員数	201名(連結) 162名(単体)
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地 TEL.(0568)23-3111(代) FAX.(0568)22-3222
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル4F TEL.(03)3256-3891(代) FAX.(03)3256-3893
子会社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司 General Packer America Corporation
関連会社	錦通日技包装科技(江蘇)有限公司

(2024年1月31日現在)

役員

代表取締役社長	牧野 研二
常務取締役	水野 智之
取締役	安藤 正行 オサ機械(株) 取締役
取締役	塚本 真也 オサ機械(株) 代表取締役社長
取締役	杉田 篤紀 オサ機械(株) 代表取締役
社外取締役(監査等委員)	久野 浩介
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎
社外取締役(監査等委員)	森田 卓寿

(2024年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式総数	1,798,800株
株主数	689名

(2024年1月31日現在)

大株主

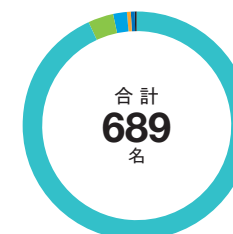
株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.03
ゼネラルパッカー従業員持株会	247,700	13.79
ゼネラルパッカー取引先持株会	85,300	4.75
MSIP CLIENT SECURITIES	82,800	4.61
株式会社りそな銀行	78,400	4.36
田中 かな	71,200	3.96
梅森 輝信	53,700	2.99
高野 季久美	45,000	2.50
島末 孝法	39,200	2.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	37,954	2.11

(2024年1月31日現在)

株主数構成比



株式数構成比



(2024年1月31日現在)

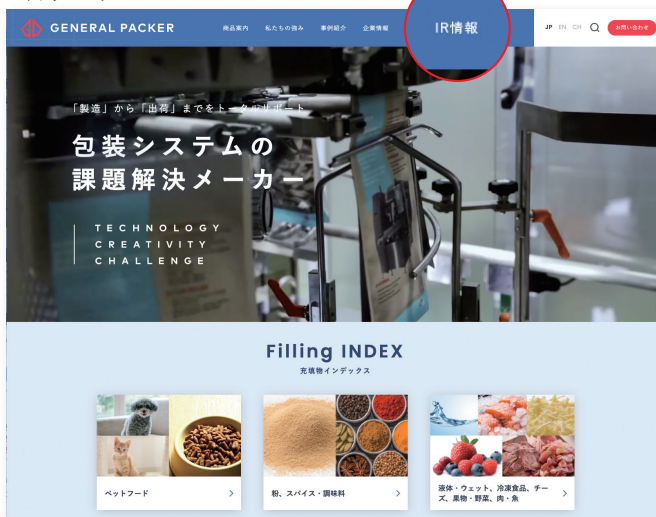
IRサイトでも、詳しい情報を提供しています

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

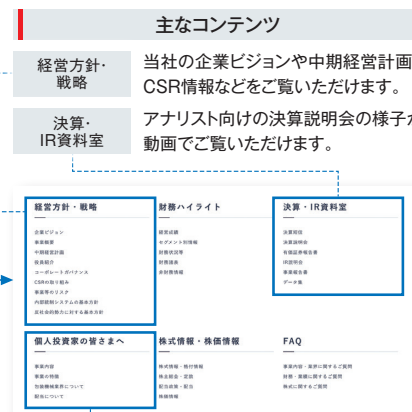
当社サイトは、日興アイ・アール株式会社の「2023年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」にて、スタンダード市場部門 最優秀サイト選ばれました。(https://www.nikkoir.co.jp/)



▼トップページ



▼IRページ



個人投資家の皆さまへ  
業務内容や特徴、業界情報、配当についてわかりやすく解説しています。

<https://www.general-packer.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで		
定時株主総会	10月		
基準日	定時株主総会	7月31日	
	期末配当金	7月31日	
	中間配当金	1月31日	
	その他あらかじめ公告する一定の日		
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社		

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 TEL. 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL	<a href="https://www.general-packer.co.jp/">https://www.general-packer.co.jp/</a>

各種手続きのお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

包装システムのトータルプランナー  
**ゼネラルパッカー株式会社**

本社・工場 〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地  
TEL. (0568) 23-3111 (代) FAX. (0568) 22-3222  
東京営業部 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地4  
KDX神田北口ビル4F  
TEL. (03) 3256-3891 (代) FAX. (03) 3256-3893

